

# 虻田町・洞爺村 2社協が合併調印



調印後握手を交わす伊藤会長(左から3番目)と原会長(4番目)

**来** 年春の虻田町と洞爺村の合併に伴って、10月25日両町の社会福祉協議会の合併調印式が、福祉センター「さわやか」で執り行われました。

これで、2町村の合併と同じく、来年の3月27日から新社会福祉法人「洞爺湖町社会福祉協議会」が業務を担うことになります。

よって福祉が後退することなく、ますます増進していきたい」と決意を披露し、その後両会長が合併契約書に署名、押印。長崎良夫虻田町長、菊地勉洞爺村長、荒田吉彦胆振保健事務所保健福祉部長、湯浅国勝北海道社会福祉協議会常務理事が各々祝辞を述べ、調印式が閉会しました。

なお新社協の本所は、現在の虻田町社協事務所、支所は現洞爺社協事務所に設置されます。



社協に寄贈した福祉車両の前で

**10** 月28日、国際ソロプチミスト洞爺湖(越後節子会長)の最後のイベントとなった「ななかまどフェスティバル感謝の夕べ」が洞爺湖文化センターで開かれ、多くの町民が参加してダンスやバンド演奏に興じ、13年間の活動に終止符を打ちました。

同会は、平成4年に20人で発足。植樹、福祉活動、青少年育成など幅広い活動を展開してきました。しかし会員の減少などもあって今年解散を決定。同フェスティバルは、これまでのさまざまな支援に感謝し、



ダンスや音楽を楽しむ参加者

最後のイベントとして企画されました。

当日は、約150人が参加し、ダンスや音楽を楽しみました。また同会はこの日、虻田町育成ななかまど資金、ソロプチミスト文庫資金、虻田町ボランティア振興資金に寄付し、町社会福祉協議会には福祉車両を寄贈しました。

越後会長は「解散は非常に残念です。これからも何らかの形でボランティア活動が続けたい」と前向きに話をしていました。

## 国際ソロプチミスト洞爺湖 最後のイベント「ななかまど フェスティバル」